

2019年度 教育実践総合センター活動概要

1. 構成員

センター長（併任）

教授 栗原 慎二

センター担当教員

《学校教育相談実践部門》

教授 栗原 慎二（併任）

教授 深谷 達史（併任）

《教育実践研究開発部門》

准教授（実務家教員） 西本 正頼（併任）

准教授（実務家教員） 亀岡 圭太（併任）

事務補助員

竹ノ中亜由美

非常勤相談員

教育臨床相談 エリクソン ユキコ

センターの概要

二つの部門を設置し、学校や教育委員会等の教育・行政機関や地域と連携を図りながら次のような活動を行っている。

教育実践研究開発部門では、高い専門性と優れた指導力を持つ教員を養成するための教育事業や研究・カリキュラム開発を行うとともに、学校の実践研究に対するコンサルテーションも行っている。学校教育相談実践部門では、現在の学校教育が抱える問題を解決・予防するための研究や、相談・支援活動を行っている。平成18年度から学校心理教育相談室（にこにこルーム）を設置し、学習や生徒指導・研究相談にかかわる心理教育的支援、学校心理学に関する教育・研究を行うとともに、学校心理学に関する研修の機会を提供している。

2. 主催・共催による公開講演会・シンポジウム・研究会等の活動

子どもの心と学び支援セミナー

①「学校教育に生かす認知行動療法」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2019年5月25日（土）

場所：比治山大学6号館

講師：枝廣和憲（福山大学人間文化学部准教授）

藤村友大（広島市公立小学校教諭）

大國綾子（島根県公立小学校教諭）

参加人数：45人

②「一歩先のUDL-学びのユニバーサルデザイン」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2019年7月6日（土）

場所：比治山大学6号館

講師：バーンズ 亀山 静子（ニューヨーク市公認スクールサイコロジスト）

参加人数：64人

③「プロが行うアセスメントとは？」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2019年7月7日（日）

場所：公益社団法人学校教育開発研究所（広島市）

講師：バーンズ 亀山 静子（ニューヨーク市公認スクールサイコロジスト）

川俣智路（北海道教育大学 准教授）

参加人数：14人

④「子どもの貧困，虐待，愛着の課題を考える」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生他

期日：2019年9月21日（土）

場所：中特会館（広島市中区）

講師：藤島敬久（県立広島学園自立支援課）

栗原慎二（広島大学）

山崎茜（広島大学）

参加人数：38人

⑤「これからの日本の教育を考える」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生他

期日：2019年11月2日（土）～11月3日（日）

場所：君田温泉森の泉（三次市）

講師：栗原慎二（広島大学）他

参加人数：26人

⑥「ASSESS（学校適応感尺度アセス）を使った子ども理解」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2020年1月25日（土）

場所：比治山大学6号館

講師：神垣幸一（広島市公立中学校教諭）

山崎茜（広島大学大学院教育学研究科）

参加人数：37人

⑦「カウンセリング1日研修」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2020年3月28日（土）

場所：比治山大学（予定）

講師：栗原慎二（広島大学）他

*コロナウィルス感染拡大防止のため中止

3. 研究活動状況

センタープロジェクト研究

- ①科学研究費助成事業基盤研究（C）（特設分野研究）「反いじめ・平和構築のための教育プログラムの開発」平成29年度～平成31年度
- ②岡山県総社市との協力に基づく共同研究「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革の研究①」
- ③宮城県石巻市との協力に基づく共同研究「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革の研究②」
- ④兵庫県加古川市との協力に基づく共同研究「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革の研究③」
- ⑤科学研究費助成事業基盤研究（B）「認知的スキルと社会情動的スキルの統合的介入方策の開発と評価」平成31年度～令和4年度

4. 教育・社会貢献事業

(1) にこにこルーム（学校心理教育支援室）

《学習相談》

にこにこルームの学習相談に参加した学生は40名。

①前期（2019年5月15日から2019年7月31日）

東広島市内の小学校14校から4年生以上の児童23名を対象に，5月15日から7月31日までの計10回，毎週水曜日17時30分から19時20分までの110分，認知カウンセリングとレクリエーションのセッション（もしくは，18時30分から19時30分までの60分間の認知カウンセリング）を行った。終了後，毎回ケース検討会を行った。

②後期（2019年10月30日から2020年1月29日）

前期に抽選で漏れた児童ないし前期から継続して参加した児童19名を対象に，10月30日から1月29日までの計10回，毎週水曜日17時30分から19時20分までの110分，認知カウンセリングとレクリエーションのセッション（もしくは，18時30分から19時30分までの

60分間の認知カウンセリング）を行った。

③その他の活動

地域の小学6年生20名を対象に，8月5日から9日の間，算数や国語の学習法を学ぶ夏休み学習講座を実施した。

《学校臨床相談》

一年間を通じて臨床心理士と大学院生の学生支援員による学校臨床相談活動を実施した。1回の面接は50分で，原則10回～15回を上限とした回数限定でカウンセリングやソーシャル・スキル・トレーニング（以下SST）等を行った。学生支援員が担当するケースの判別は臨床心理士が行い，インテーク面接の実施後，学生が児童生徒の面接を担当した。

① にこにこ広島ルーム（毎週土曜日）

広島大学東千田キャンパス内の相談室において，毎週土曜日（10時～17時30分）に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は12件で，延べ相談件数は33回。来談のケースは小学校2年生～高校3年生。不登校及び不登校傾向，発達障害，友人関係の悩み，進路への不安，子育て不安などに関する相談等が中心であった。

② にこにこ東広島ルーム（毎週日曜日）

広島大学キャンパス内の相談室において，毎週日曜日（10時～17時30分）に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は17件で，延べ相談件数は85回。来談のケースは小学校3年生～高校2年生。不登校及び不登校傾向，発達障害，対人不信，子育て不安，トラウマによる不安障害などに関する相談であった。

③定期ケース検討会（木曜日18時～20時30分）

前期・後期共に定期ケース検討会を実施した。参加学生は事前登録した24名で，臨床心理士及び学生支援員の担当するケースの事例検討会を行った。また，学級経営，児童・生徒のアセスメント，カウンセリング基本技法，SST技法等の勉強会を実施した。（延べ25回）

③ ボランティア実習

広島市内の母子自立支援施設、情緒障害児短期治療施設、広島市生活困窮世帯学習支援事業等においてボランティア実習（最低5回以上）を実施。学生は実習後に毎回レポートを提出し，教員によるフィードバックを行った。派遣した学生は延べ367名。

⑤集団ソーシャル・スキル・トレーニング&学習カウンセリング実習

地域の児童・生徒を対象に 2019 年 10 月 24 日から 2020 年 1 月 23 日まで計 5 回、集団 SST と認知カウンセリングを行った。参加者は対人関係の苦手な子どもや発達障害の傾向のある児童・生徒で、発達の課題が顕著にみられるグループ（小学 4 年生 6 名）と対人スキル向上に焦点をあてたグループ（小学 4・5・6 年生 8 名）に分かれ、集団での SST と個別での学習カウンセリングを学生支援員が担当し教員の指導のもと実施した。

(2) 学校コンサルテーション活動

概要：学校での生徒指導・教育相談に関するコンサルテーション

時期：通年（54 回）

対象：教員および保護者等

人数：延べ約 220 名

(3) フレンドシップ事業「ゆかいな土曜日」

教育実践総合センターの教員をはじめ学内委員 15 名及び下見地区の地域の方等の学外委員 5 名から成るフレンドシップ事業運営委員会を組織している。「地域教育実践 I・II」の授業として通年で開講した。2019 年 6 月から 12 月の間、6 回の活動を 13 時から 17 時(最終日のみ 11 時から 17 時)の時間帯で行った。計 60 名の学生が参加し、活動した。また、東広島市立小学校から募集した 75 名の児童が参加した。「パズル」、「くらし」の 2 グループに分かれ、それぞれ児童 8~9 名と学生 5 名で 1 班とし、8 班を編成で、グループ活動や畑での栽培活動などを行った。

5. 研究紀要の刊行

・学校教育実践学研究（第 26 巻）の刊行